



上野原市

第 25 号

発行者 上野原市議会議長
杉本 公文
編集 上野原市議会だより
編集委員会

平成23年4月25日発行

議会だより

もくじ

議長あいさつ	……2P
第1回 臨時会・定例会	……3P
議決結果等一覧表	…4P
常任委員会報告	…5～6P
予算特別委員会報告	…7P
一般質問	……8～15P
広域行政	……15P
市民の声・議会活動・ あとがき	……16P



秋山保育所のお花見散歩

第8代議長 杉本 公文

副議長

田中 英明



議長就任あいさつ

この度、二月二十三日改選後初めての第一回臨時会において、議員各位のご推挙をいただき、上野原市議会議長に就任いたしました。

議会は、市当局と共に現在の地方自治における二元代表制の元で、主権者である市民の皆様に参加を求めながら、理解と信頼を得られる住民自治を推進し確立への責務を負うものであり、その実現のために必要な議会の制度改革に積極的に取り組みます。具体的には、議会と議員のあるべき姿と役割を制度として内外に示し、具現化するため、任期中に議員政治倫理条例及び議会基本条例を制定したいと考えております。実施に向けての手法と内容については、議会制

度検討特別委員会の設置などを求める提案及び諮問をいたします。

また、開かれた議会の実現に向け、これまで非公開とされてきた会議等においても原則公開化を目指すと共に、議会が市民の意見を反映する制度として、市民の皆様との定期的な意見交換会の開催等も重要なことです。

議会の運営には中立公平な立場で臨むことは勿論、執行機関である当局へのチェック機能強化に努め、市の懸案課題に対しては、議会として政策の提案や提言を実施します。

議会が職責を果たすために、皆様方の一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

前議長退任あいさつ

はじめに、今回東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、同時に様々な形で被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、私は昨年三月に議長に就任し、この二月の議員任期満了に伴い、退任となりました。

ところで、昨年は江口市政が誕生して二年目、それまでギクシヤクした議会との関係も漸く正常化することができました。

また選挙の争点であった情報通信基盤整備事業と新病院建設問題も、前者は服部の公開幹旋案を参考に、市長が解決案を九月議会に提出、反対なく可決されたことから、これで一応の解決をみま

した。

一方、新病院建設は場所の決定が十ヶ月遅れて大変心配でしたが、県との約束期限である三月末に工事契約が結ばれ、辛うじて間に合いました。

ただこれについては工事用道路のルートが一月になって突然変更され、その議会への説明に一部不十分かつ不透明な処があったのは残念でした。

ともあれこの一年、議長への重責を果たせたのは、市民の皆様・議員各位のご支援ご協力の賜と、心からお礼を申し上げます。



服部光雄



第一回臨時会

平成二十三年二月二十三日、第一回臨時議会を開催しました。

一、選挙第一号

議長の選挙について

(当選人)

杉本公文議員

二、選挙第二号

副議長の選挙について

(当選人)

田中英明議員

議案審議

●議案第一号

上野原小学校耐震補強及び大規模改造工事請負変更契約締結について

契約金額

変更前五億九千六百万円、変更後六億五十七万三千七百五十円、変更額四百七十七万三千七百五十円を可決しました。

●議案第二号

上野原市監査委員の選任の同意について

長田喜巳夫議員を同意

しました。

山梨県東部広域連合議会議員選挙

(当選人)

久島博道議員

尾形幸召議員

杉本友栄議員

山口好昭議員

田中英明議員

東部地域広域水道企業団議会議員選挙

選挙

(当選人)

尾形重寅議員

岡部幸喜議員

服部光雄議員

鷹取偉一議員

長田喜巳夫議員

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

(当選人)

久島博道議員

●常任委員会委員の選任について

※各常任委員会委員については五ページを参照

●議会運営委員会委員の選任について

※議会運営委員会委員については五ページを参照

第1回定例会

平成二十三年第一回定例会は三月七日から二十九日まで二十三日間の会期で開かれ二十二年一度一般会計及び特別会計補正予算十一件、二十三年度一般会計及び特別会計予算十八件、条例制定五件、辺地に係る公共施設の総合整備に関する財政上の計画策定について七件、人事案件六件、請願一件、発議一件、その内二十三日が各委員会に付託され審議されました。その結果全議案が全会一致で可決・同意されました。

議決結果等については、四ページをご覧ください。

主な議案の内容は、次のとおりです。

●議案第八号

平成二十二年度上野原市一般会計補正予算(第五号)

歳入歳出に、それぞれ一億四千六百二十八万六千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ百十三億四千八百八十六万七千円と定める。

●議案第四十三号

上野原市島田財産区管理委員の選任の同意について

上条嘉道氏を同意しました。

●議案第四十四号

上野原市副市長の選任の同意について

山崎範夫氏を同意しました。

●議案第四十五号

上野原市教育委員会委員の任命の同意について

酒井信俊氏を同意しました。

●議案第四十六号、四十七号、四十八号、

上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について

白井和文氏、原田保正氏、加藤照正氏を同意しました。

●議案第四十九号

平成二十二年度上野原市一般会計補正予算(第六号)

歳入歳出補正額、千三百五十万円は三月十一日に発生した東日本大震災に伴う、被災者受入支援事業扶助費。最大三十名を民宿等へ受入れる。三食付き一泊五千円を市が全額負担し期間は、九十日間を予定。

請願

●請願第一号

「新上野原市立病院に産婦人科医、小児科医の招へい」に関する請願書

全会一致で採択しました。

平成23年第1回定例会 議決結果等一覧表

種別	議案番号等	案件名	付託委員会	議決結果
条例の 制定・改廃	議案第	3号 上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	総務	原案可決
		4号 上野原市旅費等の特例に関する条例制定について		
		5号 上野原市公民館条例等の一部を改正する条例制定について	文教厚生	
		6号 上野原市公園条例の一部を改正する条例制定について	建設経済	
		7号 上野原市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	総務	
平成22年度 補正予算	議案第	8号 上野原市一般会計補正予算(第5号)		原案可決
		9号 上野原市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)		
		10号 上野原市国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第2号)		
		11号 上野原市老人保健特別会計補正予算(第2号)		
		12号 上野原市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
		13号 上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		
		14号 上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		
		15号 上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		
		16号 上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)		
		17号 上野原市病院事業会計補正予算(第3号)		
49号 上野原市一般会計補正予算(第6号)				
平成23年度 当初予算	議案第	18号 上野原市一般会計予算	予算特別	原案可決
		19号 上野原市国民健康保険特別会計予算		
		20号 上野原市後期高齢者医療特別会計予算		
		21号 上野原市介護保険特別会計予算		
		22号 上野原市介護サービス事業特別会計予算		
		23号 上野原市公共下水道事業特別会計予算		
		24号 上野原市簡易水道事業特別会計予算		
		25号 上野原市教育奨励資金特別会計予算		
		26-30,33号 上野原市財産区特別会計予算(大目・甲東・巖・島田・上野原・秋山)		
		31号 上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算		
		32号 上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算		
		34号 上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算		
		35号 上野原市病院事業会計予算		
その他	議案第 36-42号	辺地に係る公共的施設の総合整備に関する財政上の計画策定について(秋山安寺沢・和見・小伏・飯尾・西原・沢渡・寺下)		原案可決
人事	議案第	43号 上野原市島田財産区管理委員の選任の同意について		同意
		44号 上野原市副市長の選任の同意について		
		45号 上野原市教育委員会委員の任命の同意について		
		46-48号 上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について		
請願	請願第 1号	[新上野原市立病院に産婦人科医、小児科医の招へい]に関する請願書	文教厚生	採択
条例の 制定・改廃	発議第 1号	上野原市議会議員の旅費の特例に関する条例制定		原案可決

委員会構成が決まりました

議員会

会長 尾形重寅
副会長 岡部幸喜

◎委員長 ○副委員長



建設経済常任委員会



文教厚生常任委員会



議会運営委員会



総務常任委員会



総務常任委員会の審査

総務常任委員会報告

委員長 鷹取偉一

三月八日、委員会を開

催し、付託された案件の
審査を行いました。

(議案名は四ページの議決結
果一覧表を参照)

一、議案第三号

平成二十三年六月支給
分を百分の百八十五から
百分の百六十に、平成二
十三年十二月支給分を、
百分の二百から百分の百
八十に、それぞれ減額し
て支給するものです。

二、議案第四号

市長・副市長・教育長・
職員が公務のために旅行
した場合の旅費の内、日
当については、支給しない
ことを平成二十四年三月
三十一日まで引き続き継
続するものです。

三、議案第七号

老人保健特別会計及び
国民健康保険特別会計
(直営診療施設勘定)の廃
止をすることに伴い、条例
の改正を行うものです。

当局提案の三案件につい
ては、採決の結果、全会一
致で異議なく原案どおり可
決すべきものと決しました。

所管事務調査

情報通信基盤整備事業
の第四期工事の進捗状況
と、自主共聴組合に対する
補助制度について企画課か
ら説明聴取を行いました。

また、議長から総務常任委員会に諮問のあった「公共工事及び委託業務

における高額入札」については、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

文教厚生常任委員会報告 委員長 服部光雄

三月九日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。
(議案名は四ページの議決結果一覧表を参照)

一、議案第五号

大目・甲東・四方津・沢松各小学校を統合し上野原市立上野原西小学校を



文教厚生常任委員会の審査

設置することに伴い、関係施設を地区公民館として利用するために関係条例を改正するものです。

採決の結果、異議なく全会一致で可決すべきものと決しました。

二、請願第一号

請願書に市民多数の署名が添えられているように、市民にとって極めて重要な問題です。しかしながら担当職員の説明では「地方の厳しい医師不足に加え、全国的な産科・小児科の医師不足が現実にある。さらに産科医療には産科医三人・小児科医三人・麻酔科医一人の常勤が求められ、産科の設置は現状

極めて厳しい環境にある。また先にみたような充実した産科体制とした場合、試算では毎年七億五千万円かかる」とのことでした。これらを踏まえて審査したところ「市民の強い要望であり採択すべき」とする意

見と「継続調査の後結論を出すべき」の意見に分れ、採決の結果、三対二で採択すべきものと決しました。なお、産婦人科の現況及び病院建設について閉会中の継続調査とすることに決定しました。

建設経済常任委員会報告 委員長 山口好昭

三月十一日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。
(議案名は四ページの議決結果一覧表を参照)

一、議案第六号

市が管理する公園の内、コモアしおつ内等の公園の名称変更、桂川鶴島地域近隣公園の新設に伴い、条例を改正するものがあります。付託された案件については、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

今回はコモアしおつ内の公園について、建設課に説明を求め、現地調査を行い委員からは、公園

内の木々の整備など、利用者への不便にならないよう適切な管理を求める意見が出されました。

所管事務調査

スマートインターチェンジの取り組み状況と現地調査として、談合坂サービスエリア上り線及び下り線を視察し、設置計画について説明を求めました。課題として中日本高速道路から示された談合坂サービスエリア下り線の店舗拡張を含むリニューアル計画の駐車場等と、スマートインターチェンジ設置計画場所等が重なっており、現在県を交えて協議中とのことで早期設置に向け一層の努力を求めました。なお、議長からスマートインターチェンジの建設、上野原・四方津駅の整備について諮問がありましたので閉会中の継続調査とすることを全会一致で決しました。

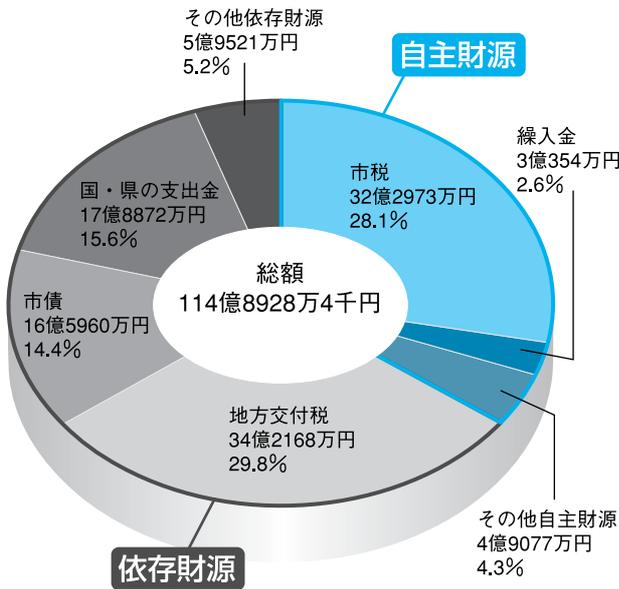
予算特別委員会報告

委員長 岡部 幸喜

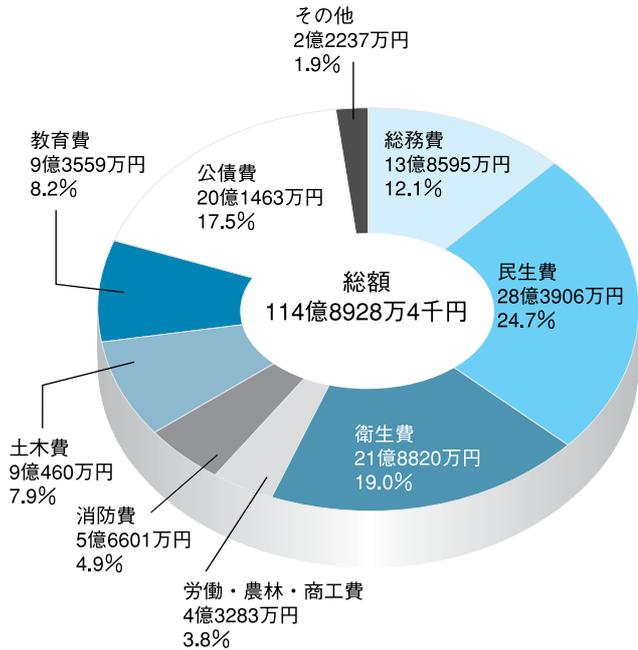
平成23年度一般会計予算のすがた

(千円以下切り捨て)

一般会計歳入状況



一般会計歳出状況



- 起債残高や特別会計への繰出金、国民健康保険財政調整基金を始めとする基金の管理など、将来を見据えた財政運営を。
- 事業の選択と集中など一層の行政改革が必要であり、政策の成果を市民に還元できるよう取り組み強化を。
- 防災無線と告知端末の連携、固定の衛星中継電話の設置など今後必要が高まる防災事業の強化を。
- 市民税等は、自主財源確保と公平性の観点から滞納金の積極的な徴収を行うため、収納体制の強化を。
- 観光を中心とした地場産業の育成、観光客の受け入れ体制強化や特色ある主体性を持った産業振興施策の推進を。
- 下水道供用開始地域における未加入世帯への加入促進の一層強化を。
- 健康増進事業については、検診受診率の向上が図れるよう取り組み強化を。
- 福祉事業については、社会福祉協議会の有効活用など、各種施策を充実させ積極的な社会福祉の推進を図るべき。
- その他、駅周辺整備やスマートインターチェンジの早期実現など多くの意見が出されました。
- 市当局に対しては、厳しい財政状況の中にあつて、経費の一層の合理化・効率化など健全な財政運営及び行財政改革を推進し、委員会での意見等を市政運営に十分反映されるよう要望しました。

主な意見等と総括

平成二十三年度当初予算十八件について三月十七日、二十二日及び二十四日の三日間にわたり審査した結果、いずれも異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

市立病院の産科問題・四方津駅周辺整備について



服部光雄議員

一、市立病院の産科

市長は「直ちには難しいのでとりあえず場所だけは確保しておく」といつてこられたが、これについて調べた処を報告し当局の意見を聞きたい。

①医師不足

・制度改正で地方に研修医がいなくなった。
・医療事故で刑事告発され易い産科・小児科を医師が敬遠し始めた。
日本の新生児死亡率は世界最少だがそれでも出産に死亡はある。

産科・婦人科学会では

事故を避けるため公立病院には常時産科医三名を配置するよう提言、同時に勤務に労働基準法の遵守と小児科医・麻酔科医の協力を求めた。

常時二人でも維持するには夜勤や休祝日勤務

から少なくとも六人以上の産科医が必要といわれる。

【病院対策課長】

その通りだと思います。

【再質問】

先に市長が挙げた日立市では六人いた産科医がいなくなり、内三人補充できたが、実情は常勤医は一人だけである。八王子市では年間四千人出生するが、市内の病院では三千人しか対応できないのが現状である。

【市長】

実状はその通りだと思いますが、今後も産科設置に向けて地域医療振興協会と協力し努力していきます。

二、四方津駅周辺整備

駅周辺整備は上野原駅だけがとり上げられ、

四方津駅はバリアフリーしか言っていない。

四方津駅周辺整備には次のような内容がある。

①コモアブリッジと駅舎を高架で結ぶ。

②駅南側出入口と下に駐車場を設け、南口から北口に抜ける線路下トンネルを拡張する。

③県道と国道の合流地点を改良する。

④国道から駅構内への進入路の改良と構内駐車場を整備拡充する。

⑤駅舎を改築して事務所を二階に上げ全面的なバ

リアフリー化を図る。

これらは一度にしなくても①と⑤からだけでも始められる。

ところで現在コモアには三千八百人が住むが、この市全体の約十五%

の人達が個人住民税の三十五%を負担し、〇・五%の面積で十%の固定資産税を払っている。

これらコモアの成果はコモアブリッジがあつてのこと、明らかに公共施設であるブリッジをコモ

ア住民の負担(年七万二千円)と責任において維持管理させているのはおかしいのではない

か。

【市長】

四方津駅についてはまずそのバリアフリー化を推進し、その中でコモアブリッジの問題等も検討していきます。

公共施設の分散化と熟年世代の活用について



尾形重寅議員

一、公共施設の分散化と熟年世代の活用は。

の考え方や現状は。

【企画課長】

統合によって跡地利用が検討される学校舎など、多くの地域資源があります。団塊の世代を地域活動の中心的な担い手として活躍できる仕組みづくりを検討します。

二、道の駅、食の駅、温泉による足湯などのスマートインターチェンジに絡めた取り組みは。

現在、勉強会の開催とともに山梨県及びネクスコ中日本と協議しています。談合坂サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置を早期に具現化し、地域振興策につながるよう努めます。

【企画課長】

現在、勉強会の開催とともに山梨県及びネクスコ中日本と協議しています。談合坂サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置を早期に具現化し、地域振興策につながるよう努めます。

三、市内小・中学校の空調設備の冷房化について

市内の小・中学校の冷房化率は十三・二%です。児童・生徒の健康管理面を考慮すると冷房化が必要ですが、学校適正規模、適正配置の状況を鑑み、財政上の困難から特別教室や管理諸室を優先し徐々に設置しています。

【教育長】

また緑のカーテンや打ち水などを取り入れてい

る事例もあり、あわせて推奨していきます。財源確保を図る上からも、国・県へも要望します。

【市長】

平成二十四年度には調査費を、次は実施計画、設置工事費を含めた予算計上に努力します。



コモアの住民に不可欠なコモアブリッジ

今夏の状況いかんでは本年度十二月の補正予算で前倒しすることも検討します。

四、介護予防事業への取り組みは。要介護になる原因は何か。また、高齢者世帯の安否確認方法は。

【長寿健康課長】

六十五歳以上の要介護未認定の高齢者を対象に元氣いきいき教室を行っています。要介護の原因の多くは脳血管疾患、運動器の機能低下などです。安否確認については近



市中で活用されている緊急通報システム

【企画課長】音声告知端末末には応答ボタンを押していただくことで、安否を確認できる機能があり、利用について関係課並びに関係機関とともに協議します。

隣者の協力で健康相談等ができる緊急通報システムふれあいペンダント、GPSを活用した緊急通報用携帯電話機などの他、養成講座を受講されたサポートが高齢者を定期的に訪問する高齢者見守りネットワーク訪問事業を実施しています。

【要望】

高齢者の方がいつまでも健康でいきいきとした生活を送れるよう、地域包括支援センターを中心に積極的に取り組まれない。五、音声告知端末の活用

用による安否確認は。

【消防総務課長】

建設地のボーリング、不動産鑑定等の予算です。三、合併特例債を財源とすると平成二十六年

【消防総務課長】建設地のボーリング、不動産鑑定等の予算です。三、合併特例債を財源とすると平成二十六年

消防庁舎建設調査費について・新市立病院本体工事入札結果について



山口好昭議員

一、奈良市政から江口市政に引き継がれ満二年経過、所感と今後の決意は。

【市長】

市民主体の市政、利便性の高い住みやすいまちづくり、透明性の高い市政の三つを柱に掲げ奮励努力。更なる住民福祉の向上を目指します。

二、東日本大震災で尊い人命や家屋を失う壊滅的甚大な被害が発生しました。これら有事の際

進めなければなりません。消防庁舎建設場所、財源、事業費、竣工等を伺う。

【消防長】

建設場所は、市西部地域の松留・八ツ沢多目的広場で協議、合併特例債を使用し約七億円を予定し二十六年度内に竣工を目指します。

四、消防法改正、火災警報器義務化設置の進捗は。

【消防総務課長】

消防団の協力で平成二十三年二月現在の集計で四十九・二%であります。五、ドクターヘリ、ヘリポート、市北部地域の橿原小学校グラウンド追加指定の進捗は。

【消防総務課長】

市北部地域の市民生活の安全・安心の負託に応える為にも緊急離着陸場の指定は必要不可欠で関係者のコンセンサスが得ら

れた段階で申請します。六、新市立病院建設の現状と開院までのスケジュールは。

【病院対策課長】

現在旧上中グラウンドの掘り下げ等造成工事を行っており本体工事は二月二十四日に入札、正式に落札者を決定契約し二十四年三月竣工予定です。

七、新市立病院建設入札結果及び条件付き一般競争入札の定義は。

【総務課長】事後審査型条件付き一般競争入札で三社が応札して落札者は、戸田建設(株)予定価格は、二十億五千万八千九百八十円(税抜き)落札金額は、十四億八千万円(税抜き)落札率は七十三・八%低入札調査基準価格は、十六億四三万九千五百八十四円(税抜き)でありません。条件付き一般競争入札は、過去の実績、経営規模、配置する技術者等一定要件を満たす者、低入札価格調査は、書類調査及びヒヤリングで実施、審査委員会が落札者を決定します。ヒヤリングは、資材の購買方法、労務管理に無理、無駄がないか下請けにしわ寄せがないか調査します。



新市立病院の造成工事

上野原駅北口歩道の整備と市民が参加する市政を目指して



氏家隆信議員

一、上野原駅北口と市街地を結ぶ歩道(駅北口から県道まで)に屋根をかける計画について

① 予算・設計・施工の時期はどの様になっているか。

② 防犯や閉そく感を考慮した材質による計画が大切だと考えますが。

【建設経済部長】

上野原駅周辺整備基本計画に北口から県道までの歩道の整備が盛り込まれています。雨天時や降雪時の歩行者の安全確保に努めます。財源となる社会資本整備総合交付金の中に組み込み、設計施工の時期を決めていきたい。また、防犯や閉そく感が無いように、明るさに考慮して開放感ある、安全・安心の設計に留意していきます。

二、関連しまして、上野原インターにかかっている歩道橋を市街地方面へと渡り、ほりわり部分があり、坂道になっていて冬期には滑りやすくなり、特に積雪時の足元の不安全性は歩行者にとって危険個所になります。この坂道にエクスティアによる屋根を設ける策はあるのか。

【建設課長】

市道新町関山島田線の屋根をかける計画はありません。今後、安全・安心を確保するために、用地の確保を含め、財政等関係部局と協議をしていきます。

三、市民の皆様が参加する市政を目指して

① 市は市民参加が容易になるような方法・手法を考えているのか。

② 市外に職場を持つ市

民が情報を取得しやすくなるような情報発信を行っているか。
③ 市長ふれあいトークの様な取り組みを職員は行っているのか。

【企画課長】

パブリックコメント(市民から広く公に意見や情報を求める)制度を利用して、透明性・公正性の確保を目的に市民の参画を頂いています。

市長ふれあいトークでは、市の担当職員が同席をして、市民の声



改善が求められる通勤・通学路

を聞いています。二年間で三十四件、百七名の市民の方が参加をしています。

市内・市外への情報発信として、ホームページを随時更新していますが、見やすさ、わかりやすさの工夫をしていきます。観光案内などの情報発信をするためにメールマガジンを検討しています。

市民の声を聞くことは、市民の皆様と協同のまちづくりをするために不可欠と考えています。これ

からも弱者目線に立った施策を進めてまいりたいと考えます。

【要望】

良いものはいち早く取り入れ、ひらかれた魅力ある上野原市を創られたらと考えます。

予防接種等の償還払い解決策・解決時期は



東山洋昭議員

一、医療に関する緊急情報を市はどのように各医療機関に周知されま

【長寿健康課長】

休日・夜間を問わず、担当リーダーまたは課長に連絡があり、関係機関への報告を行う体制です。市長を本部長とした緊急対策本部を設置した中での協議、対応しています。

二、本年度の新型インフルエンザ予防接種申請者数や接種費用の助成等は。

【長寿健康課長】

三月十四日現在で二千五百五十人です。接種費用三千六百円のうち千円は個人負担で、市内開業医においては接種費用の窓口払いをし、市役所に再度請求を行うという償還払い方式です。

市民の方々にはご不便をおかけしています。

【再質問】

申請者が市役所窓口等に来庁したとき、説明・申請に一人当たりどの位の時間がかかりますか。

【長寿健康課長】

平均時間は、おおむね五分程度とされます。

【再質問】

二千五百五十人×五分＝一万二千七百五十分、職員が一日八時間働くとして、二六・五日かかる計算です。一ヶ月以上一人の職員がこの説明・申請に、専門に関わっているといえなくもない。昨年度まではこのようなことはなかったんですね。

【長寿健康課長】

ありませんでした。三、子宮頸がん予防ワクチン接種について。

【長寿健康課長】

対象者は小学六年生及び中学三年生年齢相当の女子が二百六十四人、高校一年生相当年齢の女子が百四十四人です。当ワ

クチンは三回の接種が必要で、助成金額は一回につき一万五千円が上限です。接種率は、県内で約八十%、近隣の大月市及び都留市で約八十四%と高く、上野原市では五十四・五%と低くなっており、これは償還払いによる接種費用自己負担額が高額であることも一因として考えられます。

【再質問】
接種率が近隣市より約三十%低く、原因は主に



償還払い。子育て世代に

三回接種して四万五千円の負担は非常に重い。両問題を解決するには市医師会の協力が不可欠。いつまでに解決できますか。

【市長】

ご指摘のとおり、予防接種につきましては市民の方々に大いに不便を与え深く陳謝します。市内開業医の先生方のご協力が不可欠であることは、肝に銘じております。私は市長として市民の安全・安心な生活の維持に努めなければなりません。早急に対応し、ご協力をいただく中で、市民の医療行政の推進に邁進してまいりたいと考えます。

スマートインターチェンジの進捗と音声告知端末の利活用について



尾形幸召議員

一、談合坂サービスエリア

のスマートインターチェンジの進捗について。

① 現在までの取り組み状況。

② 県・国の動きは。

③ 今後の地域取り組み方は。

④ 市の今後取り組み課題は。

【建設課長】

① 平成十九年、スマートインターチェンジ設置に向けて関東連絡協議会に登録し、国土交通省関東整備局相談会に出席しました。
② 平成二十年、スマートインターチェンジ関東連絡協議会に出席、山梨県及び、県選出国会議員と共に、合同予備活動実施に参加。平成二十二年四月、県と共に関東整備局相談会に出席、協議のためには、図面・資料が必要との指導を受けました。
六月定例会で調査費計

上、十月知事に要望。

十二月第一回勉強会実施。

二十二年七月第二回勉強会開催、下り線SA

のリニューアル計画を知る。

設置場所等については

今後の課題です。

③ 国への申し込み状況は、

五十二箇所、設置事業中

二十五箇所であり、追加

が八箇所です。

④ 県は市の意向に沿い、

国や県選出国会議員に働きかけます。

レイアウト・アクセス道

路の検討は県、業者と検討

します。

二、音声告知端末の利活用

向上について。

① 音声端末放送の現状は。

② 防災無線との連動は。

③ 利活用の具体策は。

④ 市とUBCとの協議は。

【企画課長】

① 音声告知端末を利用

して市の発信は毎日実施。録音機能で、後刻、再生して聴く事もできます。

② 放送施設は本庁と消防署に設置されています。

情報伝達は、音声告知

端末を利用するか、

野外防災無線を利用する

かは、情報発信源の

課が情報の内容等を判断

しています。

③ 市内全戸に音声告知

端末が設置される事が大

前提となります。

未設置宅には、音声告

知端末を設置して頂きま

すよう取り組んでいます。

④ 庁内で具体的検討の際

はUBCと協議します。

三、空き校舎・校庭の利

活用について

① 市の検討委員会状況は

② 地域対話の実施は

【企画課長】

① 地域資源の有効利活用

の観点から貴重です。昨

年九月設置後、一度委員

会を開催しました。

委員には各担当課の情

報を収集して欲しい旨、

指示しています。

その情報が整備された段

階で集中的に委員会を開

催します。

② 各地域での

学校適正配置

のご意見を伺

う中で、地域

協議の席上、ご

意見を伺ってい

ます。

地域内では

事前に要望書

のご提示もさ

れており、本格

的な検討に入

ります。

利活用が待たれる空き校舎



自治基本条例の制定状況について



長田喜巳夫議員

一、自治基本条例の制定状況

自治基本条例とは、まちづくりの方向や基本原理、行政の基本ルールなどを定めた自治体の憲法ともいわれるものです。検討委員会を設置する予算を二十二年度に計上しているが現在の状況は。

【企画課長】市民等による検討委員会を設置し、市民と協働で取り組み規定する事項など時間をかけ議論する必要があります。そのため庁内において検討、勉強会を行い、市民との協働作業へ移行するよう進めてきたが、現時点では庁内協議に至っていません。新年度に再度予算計上しましたので準備を進めていきます。

二、市立病院建設

①進入路、本体工事等の契約状況は。

【総務課長】

市立病院搬入路整備工事(事後審査型条件付一般競争)入札他三件の道路改良工事、病院敷地一次造成工事二件、家屋解体撤去敷地造成及び搬入路整備工事、病院移転新築工事(事後審査型条件付一般競争)入札及び契約を行いました。最も金額の大きい新築工事の落札者は戸田建設(株)東京支店山梨営業所となりました。予定価格二十億五百四十八万六千九百八十円に対し、落札額は十四億八千万円であり、落札率は七十三・八％という状況です。

②駐車場の状況、開院予定は。

【病院対策課長】

路線変更に伴い旧市民会館の駐車場は十二台増加し、九十四台となり病院敷地内駐車台数と合わせ百九十台となります。また、前面の道路に交通弱者等の利用者分として十台分を確保できま

す。開院予定は来年五月頃と考えています。
三、地域公共交通活性化協議会(コミュニティバス等の導入)状況
コミュニティバス等の導入については、すでに三回取り上げてきました。



新市立病院進入路工事

二十三年度から実証運行となりますが、具体的な内容は。

【生活環境課長】

二十三年十月から桐原・西原方面、島田・秋山方面において利用者の需要に応じ自宅付近から目的地まで一乗車五百円で乗り合い形式のデマンドタクシーを計画しています。コモアについては、路線バスの乗り入れを計画しています。二十四年度からは大鶴・甲東方面、大目・巖方面を計画しています。

四、空き家バンクの状況

定住者誘致事業並びに二地域居住との関連になります。今後の方針は。

【経済課長】

二十三年にバンクを設置し運用を始めます。

病院建設暫定道路の計画変更の理由は



久島博道議員

一、介護保険料の抑制

①第四期介護保険事業計画が終了する平成二十三年度末の介護給付費準備基金の残高見直しは。

②巖地区、コモアしおつ方面に地域包括支援センターを設置して、予防ケアマネジメントの充実を図るべきだ。

③介護支援ボランティア活動は自身の介護予防にも役立つ、制度導入は。

【長寿健康課長】

介護給付準備基金残高は二十二年末で六千三百三十四万円、今年度は、千七百九十四万円を積立て、総額八千二百十八万六千円程度の予定です。

第五期計画は来年度から始まりますが、今年度の基金繰入で保険料上昇の抑制に努めます。

一つの地域包括支援センターが担う六十五歳以上の数は概ね三千人以上六千人未満に保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が各一名とされており、介護保険運営協議会等と協議し、委託なども含めて検討します。

介護支援ボランティア制度は、介護予防対策として、今後介護保険運営協議会や社会福祉協議会などに問題を提起し、受け入れ施設・事業所とも協議を行う。

二、子ども手当では、民主党マニフェストでは全額国費で賄うとある。当市の予算計上の考え方と子ども手当の財源は年少扶養控除(所得税三十八万、住民税三十三万円)が廃止され、特定扶養控除では(所得税二十五万円、

住民税十二万円)の上乗せ分が廃止されるが、本市への影響について伺う。

【福祉保健部長】

子ども手当の対象児童は約二千六百五十人、支給総額は約四億二千百万円を見込み、国が三億三千万円、県と市がそれぞれ四千二百万円の影響を見込んでいます。

【税務課長】

0歳から十五歳の扶養控除三十三万円の廃止で平成二十四年以降の市民税は増額の方向ですが影響額の算定は困難です。

三、病院建設

①暫定道路の計画変更に関して丁寧な住民説明会

が行われていない。

計画変更の理由と用地買収の予算額は。

②市長は院内保育所の設置に関してアンケートを取ったと答弁したが、資料は平成二十年の調査で、今回アンケートは取っていない。

【病院対策課長】

用地取得の予算額は八千三百三十七万円で変更理由は直線的になる事と駐車台数が十二台増える。説明会の総意の中で同意が得られています。

【市長】

考え方の違いで、あの道路がなければ病院建設は出来ません。



無心に遊ぶ子どもたち(秋山保育所)

上野原駅・四方津駅 総合開発及び四方津駅バリアフリー化について



川島秀夫議員

一、上野原駅周辺整備検討委員会での検討と結果、新年度具体的に予算付けされているが今後の展望は。

【建設経済部長】

平成二十一年駅周辺整備検討委員会を立ち上げ検討を重ねてきた。その意見を取り入れ「基本構想」が出来上がりパブリックコメント地区説明会を九地区で実施した。計画実現に向けて関係地権者との合意形成を進め関係各機関と基本設計実施計画を策定し、迅速な取り組みを進める。

等ハード整備事業を順次行う予定です。

二、四方津駅バリアフリー化及び駅周辺総合開発について

①四方津駅周辺総合開発についての検討委員会の設置予定は何時か。

【建設経済部長】

四方津駅のバリアフリー化については、バリアフリー新法の見直しにより基準が緩和される見通しです。その基準緩和の状態を見て市としては検討委員会を立ち上げる等の検討を進めたい。

課なので新年度の整備事業で財政的にも人材的にも精一杯であり、今後の課題として検討します。

【要望】

駅周辺開発は四方津地区川合地区の永年の悲願であるので早急に立ち上げを検討願いたい。

②バリアフリーの基準緩和とはいえJRからの順番を座して待っていては更に先になってしまいが、対策は。

【市長】

バリアフリー新法の基準緩和は、四方津駅のためのようなものではない。国・県・JRに積極的且つ具体的に働きかけをして、エレベーター・エスカレーターの早期実現をはかっていく。そして駅の橋上化その時は、コモアからのブリッジと繋げるような構想にもなると思う。

駅総合開発については、単にJRだけでなく、国道管理者の国土交通省、当然県も加わり、更に地権者との交渉など総合的に取り組まなければならない。これから市の長期総合計画に組み込み検討を重ねていく予定です。

【要望】

バリアフリーと並行して駅総合開発は、四方津・川合地区の悲願であることを再度銘記して早急に検討願いたい。

二十三年度は南口駅前整備のための測量、地質調査、エレベーター・エスカレーター等の構造物の予備設計を実施する。駅前広場、アクセス道路

現在上野原駅を中心に、今年度具体的な調査に入るところです。四方津駅についてはバリアフリー化についての検討が先になると思います。駅周辺整備課は、上野原駅を対象に設置された



四方津駅の長い階段

富士急バスに対する
補助と医師不足に
対する取り組みは



久嶋成美議員

一、富士急バスに対する補助について

①上野原市生活バス路線維持費補助金の推移を見ますと、平成二十三年度の補助割合が、赤字が減っているにもかかわらず近年に比べ増えているのは何故か。

【生活環境課長】

市は、これまで補助金を出して路線バスを維持してきたが、バス事業者からは赤字額に対する全額補助を求められている。赤字路線バスの補助については、財政負担が大きいく全額補助が難しいという事で、一定額の補助として六十%前後を、その時々財政状況に応じて補助している。補助率が高くなっているのは、コモア等への乗り入れも一因となっています。

②秋山地区においては、西部路線が平成二十一年十月に、住民に納得のいく説明もないうまま、突然、朝、夕の二本が廃止され、日中一本だけになり、大変不便を強いられています。これに対する対応策は。

【生活環境課長】

上野原市全体で八路線四十八便が減少し、平均乗車密度で五人以下の運行便、又将来にわたって採算の見込のとれない運行便が廃止となった。従来どおりの運行は難しいが地域公共交通の総合連携計画に基づき、デマンドバスを十月から実証運行を進め、本格運行に向けて実施基準を定める中で秋山地区においては、都留市との調整を図りながら進めていきます。

【要望】

交通弱者の目線に立った市政運営が市長の方針のはず。交通空白地域をなくす為に、現地へ出向き住民の声を聞き、よく検討し進めてもらいたい。

二、医師不足に対する取り組みについて

市立病院や診療所も含めた全体的な医師不足に対する取り組みは。

【病院対策課長】

平成十六年度にスタートした新臨床研修医制度によって研修医が都市部に集中して研修後も地元にもどることなく、こういう結果になっています。



秋山診療所

る。市立病院としても、その影響を受ける中で、特に整形外科医と常勤の小児科医の招へいを急務としている。指定管理者と協力しながら、医師確保に向けて取り組みます。

【要望】

西原診療所については、月二回では少なすぎる。秋山診療所においても、毎週金曜日がまるで定休日のように休診となり、住民から不平、不満、不安の声が上がっている。医師確保に向けて早急に取り組んでもらいたい。特に秋山地区は合併後の疲弊感が募っている。

談合坂スマートイン
ターチェンジの進捗
状況は



小俣宏之議員

東日本大震災は甚大な被害をもたらしましたが、我々上野原市民一同、この教訓を十分に生かしてこそ、犠牲になられた多くの方々が報われる唯一の方法であると確信しております。

高速道路(株)へ積極的な働きかけを行い、早期実現に結び付けられるよう、取り組んでまいります。二、大月市にも近いので大月市との連携については如何か。

【建設課長】

今までも県知事又は、国会議員等にも要請をしております。

従いまして、防災問題には、真剣に取り組む必要があります。一、談合坂スマートインターチェンジの取り組みについて、お尋ねいたします。

【建設課長】

予算を昨年の六月の議会で計上し、第二回の勉強会をしたのを始め、山梨県知事や、山梨県選出の国会議員にも早期実現にむけての協力要請等を行っております。

今後具体的な計画を基に、県や国、中日本

また現在作成しております計画等を踏まえながら、近隣の市町村にも協力をお願いしたいと思っております。

三、スマートインターチェンジに関する勉強会が第一回目と第二回目、七ヶ月も延びた理由は。

【建設課長】

第一回目を平成二十一年十二月に、第二回目の勉強会を平成二十二年の七月に行っております。



談合坂サービスエリア（上り線）

第二回目の勉強会で一回目の勉強会の指摘事項や、市で行った資料データを活用し打ち合わせ資料の作成を行いました。

協議を重ねて、早期実現にむけて、努力していきたいと思っています。

四、今後の取り組みに対する見通しは。

【建設課長】

下り線の談合坂サービスエリアの店舗拡張を含むリニューアル計画があり、スマートインターチェンジ設置計画所が重なり、山梨県と中日本高速道路（株）と協議中であります。ひき続き協議を重ねて

早期実現にむけていくわけですが、現在業務委託をしている中で検討手段として、アクセスの問題から地元協議や交通量推計分析、整備効果の把握等計画書の作成を行って行きます。

【意見】

早期実現のために、私も労を惜しまず協力致します。

議会と行政が、共に知恵を出し合い「私利私欲」の無い「透明で嘘の無い」まさに「市民の為の政治」でなくてはなりません。

口先だけでなく「行動を共にした政治」を心がける必要があります。

広域行政

東部広域連合議会

二月二十四日、二月定例会が開会され、次の四案件が承認、可決されました。

一、承認第一号（専決処分の件）

山梨県東部広域連合職員給与条例の一部を改正する条例

人事院勧告並びに一般職の国家公務員の給与改定に鑑み、期末・勤勉手当の支給率の引き下げ等を行う条例改正です。

二、議案第一号

山梨県東部広域連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び山梨県東部広域連合職員給与条例中改正の件

一般職の国家公務員並びに山梨県職員の勤務時間の短縮に鑑み、職員間の勤務時間の短縮等を行う

ための条例改正です。

三、議案第二号

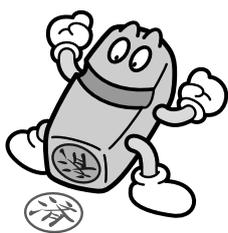
平成二十二年東部山梨県東部広域連合一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ八百七十五万五千円を増額し、歳入歳出予算の総額を二億千三百七万二千円とするものです。

四、議案第三号

平成二十三年東部山梨県東部広域連合一般会計当初予算

歳入は市村の負担金が原資で、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二億八百八十四万六千円とするもので、前年度対比四百五十二万八千円の増額となっています。



東部地域広域水道企業団議会

東部地域広域水道企業団第一回定例会議が開会され、平成二十三年三月四日議員十名中、九名出席のもと開会され、提出された四議案を全会一致で可決しました。

一、議案第一号

東部地域広域水道企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例中改正の件

平成二十二年東部人事院勧告に基づき、自宅にかかる住居手当を廃止するものです。

二、議案第二号

平成二十二年東部地域広域水道企業団水道事業会計補正予算(第二号)

配水管（老朽管）布設事業費を九十四万九千円増額し、事業費合計を一億七千四百九十九万円に補正。

収益的収入及び支出は、水道事業収益を百八十七万五千円増額し、十億七千二百八十四万四千円に、水道事業費を千九百九十四

万一千円減額し、事業費合計を十四億五千二百五十八万七千円に補正。

資本的収入及び支出は、収入を七百七十四万一千円減額し、合計一億九千九百九十九万三千円に、支出を六億九百三十六万三千円に補正。

三、議案第三号

平成二十三年東部地域広域水道企業団水道事業会計予算の件

配水管（老朽管）布設事業費を一億五千四百七十三万四千円と定め、収益的収入及び支出は、収入を十億八千五百七十一万八千円に、支出を十四億八千六百九十四万四千円に定め、資本的収入及び支出は、収入を一億三千八百六十二万九千円に、支出を五億八千九百九十四万九千円に定めるものです。

四、議案第四号

監査員の選任について同意を求める件

尾形幸召議員が同意されました。

1月～3月 議会活動

1月

- 9日 上野原市消防団出初式
- 10日 上野原市成人式
- 16日 上野原市駅伝競走大会
- 20日 上野原市商工会優良従業員表彰式典
- 21日 上野原市区長会新年互礼会
- 27日 青色申告推進書道コンクール審査委員会

2月

- 5日 上野原市身体障害者福祉会新年互礼会
- 8日 上野原市母子寡婦福祉連合会新年互礼会
- 10日 山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)
- 23日 第1回臨時会
- 24日 東部広域連合議会・議会運営委員会

3月

- 1日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 4日 東部地域広域水道企業団議会・定例会
- 5日 沢松小学校閉校式
上野原市社会福祉大会
- 6日 甲東小学校閉校式
- 7日 第1回定例会開会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 中学校卒業式
- 11日 建設経済常任委員会
- 12日 大鶴幼稚園閉園式
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 17日 予算特別委員会
- 18日 小学校卒業式
- 19日 大目小学校閉校式
- 22日 予算特別委員会
- 24日 予算特別委員会(総括)
- 29日 第1回定例会閉会

東日本大震災において被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
災害時に備え、市民の方々の要望を速やかに汲み取り、安心・安全が実感していただけるよう、議員一同一生懸命努力してまいります。

市民の声



大鶴地区
区長会長
浅田 英一

三月十一日、テレビに映しだされた大津波。東北の街と自然が押し流され、彼の地で暮らしている人々の命と生活の全てが奪い去られていきました。その自然の力の前に無力感を抱いたのは私だけではないでしょう。今はただ、

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
このような災害時には、人の和と地域の力が大切です。自衛隊や海外からの救援救助活動も必要ですが、常日頃生活を共にしている地元消防団や安協、社協など地区役員さんと住民の皆様のご協力が欠かせません。被災地の皆様に負けずに、心をひとつにして活動をしていきたいと願っています。



新編集委員

あとがき

一月三十日投票された市議会議員選挙で十八名の議員が誕生しました。その内、新進澁刺とした新人議員七名が加わり、第一回臨時会及び定例会が開かれました。

議会運営委員会、総務、文教厚生、建設経済の各常任委員会は、六名の構成となりましたが順調にスタートしました。

議会だより編集委員も六名ですが、定例会の都度三ヵ月に一回発行される市議会唯一の広報ですので、市民のみなさまに支持され親しまれる紙面作りに編集委員一同、全力投球いたします。

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 山口 好昭 |
| 副委員長 | 杉本 友栄 |
| 委員 | 川島 秀夫 |
| 委員 | 小俣 宏之 |
| 委員 | 東山 洋昭 |
| 委員 | 氏家 隆信 |

印刷/甲府市宮原町
608-1
株式会社サンニ印刷
(055)241-1111



この広報は、環境保護に配慮した再生紙と、植物性大豆油インキを使用しています。